

2020年10月30日

相模原市長 本村 賢太郎 様

新型コロナウイルス感染症への対応に関する要望書（第三次）

日本共産党相模原市議団

新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、全庁をあげてご尽力いただいていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスの国内感染者が累計10万人を超え、感染者数は微増傾向となっています。本市でも感染者が増加し、ふじの温泉病院と国立病院機構相模原病院ではクラスターが発生しており、市民に不安が広がっています。

2病院はいずれも、職員に感染者が確認された後に、職員および入院患者に検査を実施した結果、院内での多数の感染者の発生、感染拡大が確認されています。

本市では、「感染拡大リスクの高い施設でのクラスター発生防止のため、濃厚接触者に加え、対象者をより広く捉えて緊急検査をおこなうなどの対応をしてきた」としてはいますが、高齢者をはじめとする感染リスクの高い人に感染させないためには、当該施設にウイルスを持ち込ませないことが重要です。

今回の2病院での大規模なクラスター発生をうけ、感染拡大リスクの高い施設での感染を防止するために、以下の通り対応を図ることを要望いたします。

記

1. 本市でクラスターが発生していることから、国の事務連絡を踏まえ、医療機関や高齢者施設等で働く方、入院・入所者全員を対象とした一斉・定期的な検査を実施するとともに、感染が発生した施設等に限らず、地域の関係者を幅広く検査すること
2. 医療、介護、保育、教育、消防等で働くエッセンシャルワーカーへの定期的なPCR等検査の実施など、社会的検査の実施について検討を進めること
3. 感染者を適切に保護（隔離）するために必要な病床、宿泊療養施設を確保するとともに、追跡調査に必要な保健所の体制強化を図ること
4. 検査に要する費用は全額国費負担とするよう、国に強く要望すること

以上